

主題：「神の宮である召会（神の永遠のエコノミーの目標）」  
の内在的な意義

メッセージ 17

祈りの家

聖書：イザヤ 56:7. 62:6-7. エゼキエル 36:37. ヨハネ 15:7. マタイ 6:10. エペソ 3:14-21

I. 聖書の中心思想は、神ご自身によって贖われ、ご自身とミングリングされた人たちの生ける構成である建造を、神が求めているということです——マタイ 16:18. エペソ 2:21-22. 4:16：

- A. 神の意図は、霊の家として建造された一組の人々（神の宮としての召会）を得ることです。それは彼を表現し、彼の敵を対処し、失われた地を回復することによって彼を代行します——創 1:26. マタイ 16:18-19. I ペテロ 2:5。
- B. 神の建造とは、彼の心の願いまた彼の救いの目標、団体のからだにおける命としての神の表現、神と人のミングリング、三一の神の団体の表現です——マタイ 16:18. エペソ 4:16。

II. 神の建造（神の宮としての召会、キリストのからだ）は、祈りの家です——イザヤ 56:7. マルコ 11:17 前半. ヨハネ 2:16-17, 19-21. 14:2. ヘブル 3:6：

- A. 「わたしの家は、すべての民の祈りの家と呼ばれる」——イザヤ 56:7 後半。
- B. 「彼らに教えて言われた、『「わたしの家は、すべての諸国民のための祈りの家と呼ばれる」と書かれているではないか?』」——マルコ 11:17 前半。
- C. 「わたしは……わたしの祈りの家で喜ばせる」——イザヤ 56:7 前半。

III. 神の宮、祈りの家としての召会の中で、わたしたちは神の願いを成就し、神のみこころを遂行し、神のエコノミーを完成するために祈ります——列王上 8:48. ダニエル 9:1-23. ヨハネ 15:7. マタイ 6:10. エペソ 3:14-21. 5:27. 啓 14:1. 21:2：

- A. 祈りの家で、わたしたちは祈りの人として生き奉仕し、神聖で奥義的な領域の中で奥義的な神に祈ります——ルカ 5:16. ヨハネ 6:57. 14:9-10, 20。
- B. 神の宮、祈りの家としての召会の中で、わたしたちは神の願いと思想にしたがって祈ります。そのような祈りは尊く重みがあり、ハデスの門を揺り動かし、サタンに影響を与えます——ダニエル 9:1-23。
- C. 神を喜ばせる祈りは、神のみこころを成就し、神の働きを完了するために求める祈りです——マタイ 6:10. コロサイ 1:9. 4:12. イザヤ 45:11. 62:6-7. エゼキエル 36:37。
- D. 祈りの家におけるわたしたちの祈りは、神のエコノミーを成就するためであるべきです——列王上 8:48：

- 1. 聖なる地、聖なる都、聖なる宮は、神のエコノミーに関する三つの極め

て重要な事柄です：

- a. キリストはわたしたちの良き地です。キリストはわたしたちの都、わたしたちの王国です。キリストは宮、神の住まいです。
  - b. わたしたちの祈りは、聖なる地、聖なる都、聖なる宮を目標とすべきです。これは、わたしたちの祈りが神の権益に、すなわち、地上での神の権益としてのキリストと召会にあるべきであることを意味します——エペソ 1:16-23, 3:14-21。
  - c. ダニエルはエルサレムに向かって彼の窓を開けることによって、聖なる地、聖なる都、聖なる宮のために祈りました——ダニエル 6:10。
2. 正しく祈るために、わたしたちは主イエスの御名の中で神に祈り、神のエコノミーのために、彼の権益を目標としなければなりません。イエスの御名の中で祈るとは、地上での神の権益のために祈ることです。地はわたしたちへの神の分け前としての、神の王国としての、神の住まいとしてのキリストです——ヨハネ 14:13-14, 15:16, エペソ 2:21-22, 3:8, コロサイ 1:12-13。
- E. キリストは彼の天の務めにおいて、とりなし、務めをし、神の行政を執行しています。わたしたちは、神の宮、祈りの家としての召会の中で祈ることによって、キリストの天の務めにおける彼の活動に応答する者となる必要があります——ヘブル 2:17, 4:14, 7:25-26, 8:1-2, 啓 5:6, コロサイ 3:1-4：
1. わたしたちの祈りを通して、キリスト、かしらは、彼のからだを通して彼の行政を遂行する道が与えられています。かしらがとりなし、務めをし、行政を執行することによって天で働いているとき、わたしたち、からだは地上で働いて、キリストの天の務めに応答し、彼が行なっていることを反映しています—— 1:18 前半, 2:19, 3:1-2, ヘブル 2:17, 4:14, 7:25-26, 8:1-2, 啓 5:6。
  2. わたしたちが上にあるものを求め、キリストと一つの命、一つの生活を持つなら、完全に主の権益に占有されるでしょう。わたしたちの心は天で彼と共にあります。天で彼は召会のためにとりなし、聖徒たちに供給し、神の行政を執行しています——コロサイ 3:1-4, 17。
- F. 神の宮、祈りの家としての召会における祈りは、昇天の地位にあり、この祈りの地位には祈りの権威があります。わたしたちが天の地位と権威を持つとき、わたしたちの祈りは神の行政、神のみこころの執行となります。これは召会の優勢な祈り、時代の祈りです——エペソ 1:22-23, 2:6, マタイ 6:9-10, 13b。
- G. 神の宮、祈りの家としての召会の中で、わたしたちは執行する方法で祈り、天で縛られていたものを地上で縛り、天で解かれていたものを地上で解きます。これはからだの祈りです。わたしたちは「調和一致」を求めてはじ

めて、このような祈りを持つことができます—— 18:18-19。

- H. 神の宮、祈りの家としての召会の中で、わたしたちはキリストのとりなす生活にあずかり、神聖な行政の中心で祈ります——啓 8:3. ヘブル 7:25. ローマ 8:26-27, 34。
- I. 祈りの家における祈りの中心主題と目標は、キリストのために栄光の召会、彼に符合し、彼の心の願いを成就する召会を備えることです——エペソ 1:5, 9. 3:14-21. 5:27。
- J. 主の回復はシオン（新エルサレムにおいて究極的に完成するキリストのからだの実際）を建造することであり、わたしたちは神の宮、祈りの家としての召会の中で祈ることによって、シオンに到達します—— 4:16. 啓 14:1, 21:2。